



TOPIC

第2回 現地校交流セット・マール高校

1月30日（金）、今年2回目の現地校交流を行いました。今回は、モルパにあるセット・マール高校を訪問しました。「やっと現地校に行ける！」とみんな行く前からドキドキわくわくの訪問となりました。セット・マール高校では、歓迎の歌「崖の上のポニョ」を一緒に歌って交流が始まりました。その後も、グループに分かれて「スクービドゥ作り」「演劇トレーニング」「ツイスター」「アラビア語体験」「ビーズブレスレッド作り」をみんなで楽しみました。体験の間もフランス語や日本語や英語でコミュニケーションをとる子どもたちの姿がたくさん見られました。高校生のお兄さん・お姉さんたちも、習ってきた日本語を何とか使おうと頑張ってくれました。お互いに習ってきた言葉を使って学び合えるとても良い機会になりました。



SCHEDULE

来週の予定



日	9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)
時刻	小学部朝会	朝読書	朝学習	朝の運動	朝学習
1	フランス語	フランス語	算数	理科	理科
2	理科	社会テスト	家庭	国語テスト	音楽
3	体育	算数	理科	書写	国語テスト
4	算数	英会話	体育	算数	算数
5	国語	音楽	国語	社会	英語
6	クラブ活動	国語テスト	社会テスト	総合	道徳
持ち物	体育着	リコーダー	体育着	習字セット	リコーダー
下校	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40

国語の学習で「考える」をテーマに書かれた3つの文章を学習しました。3人の「考える」について考えた後、みんなに「わたしの『考える』とは」というテーマで作文を書きました。今回はその中から4人の作文を紹介します。一人一人の「考える」ってどういうことかがわかりますか？

「考える」

篠崎 千紗

私の「考える」という概念は、全てのことだと思っています。ただ全てと言っても「言葉」にしていることだと思っています。無意識のものは、考えているのではなく、本能。ではどこまでが本能で、どこからが考えるになるのか、それは頭の中で言葉にして思うところからだと思います。自分で「考えている」という自覚がなくともそれは考えるに入っているのではないかと思います。

「考える」とは、自分を、相手を、思う感じることだと考えます。そして、その思いを言葉にして表現する、ということが「考える」なのではないでしょうか。

「考える」とは

三善 由貴

よくが教科書にある話を聞き思ったのは、「考える」とは自分が今まで学んできたことや体験を思い出し、それを活用し、感情で答えを出すのではない、論理的に答えを出すことだと思っています。答えを出さなくても、出そうとしたりすることも考えることだと思っています。よくがそう考えて理由は、自分が今まで考えてきたことを思い出し、その思い出したことの共通点がこれからです。

「考える」とは

永井 獅竜

私は考えるとは自分で情報を処理し、自分の頭で答えを出そうとすること自体だと思います。

そう思った理由は二つあります。一つ目は、自分で情報を処理しないとそれは考えてはいないと思ったからです。自分で問題を読む、または聴インプットしてからでないと適当に答えるだけになってしまいます。

二つ目は、以前やった四つの「よく考えなさい」の意味を考える時間に、自分は今何をしているんだろうと考えた際にこの問題を解いて正解を探そうとしているんだなと思ったからです。

最後に、「考える」というのは動物の中でも賢い種にしかできない行動です。ですが、動物たちも脳の働きて考えているだけ。本当の意味で考えているかはわかりません。それでも、少なくとも人間はしっかり考え、他の人意思疎通ができています。この特別な「考える」という力・能力をもっと大切にすべきなのです。



自分の言葉で考えるとは

小松 菜唯梨

頭の中で声や音は聞こえないけれど言葉で考える。言葉を見ている聞いているわけでもないのに、言葉で考えるとはどういうことなのか。

例えば、自分が文章を声に出して読んでみるとする。それを聞く。そして、もう一度読むが、今度は見ない聞かない考える。その文章は自分の思考と同義なのだ。このように、頭の中で言葉が聞こえなくても、「言葉を使った思考」はできるのだ。

また、言葉を使って考えているときは、その言葉を体験する方法が、実際に読んでいるときとまったく同じように感じるのだ。だから言葉が声に出して話すのを聞くとは、ちがう体験だ。

今も、みんな自分の言葉で考えているのだ。そこにあるだけで存在するけれど形はない言葉と。

